

「TBG 定量」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記項目につきまして、試薬変更に伴い検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目／変更内容

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧
48	2135	TBG 定量 〔RIA PEG 法〕	検査項目名	サイロキシン結合 グロブリン(TBG)	TBG 定量 〔RIA PEG 法〕
			検 体 量	血清 0.5mL	血清 0.2mL
			所 要 日 数	3～6 日	3～8 日
			検 査 方 法	CLEIA	RIA PEG 法
			基 準 値	14～31 (μ g/mL)	15.9～35.6 (μ g/mL)

※現行試薬の安定供給が困難なため、non-RIA 試薬に変更いたします。
※その他の検査要項に変更はございません。詳細は裏面をご確認下さい。

■変更期日

●2020年5月29日(金)受付日分より

サイロキシン結合グロブリン(TBG)

サイロキシン結合グロブリン(Tyroxine Binding Globulin:TBG)は、肝臓で合成分泌される最も重要な甲状腺輸送ホルモン蛋白質です。TBGは、血中では、サイロキシン(T_4)、トリヨードサイロニン(T_3)の約70%と結合して存在し、血中半減期は約5日といわれています。TBG定量の測定は甲状腺機能及び甲状腺ホルモンの作用状態を知るために重要です。従来、主にRIA法にて測定されていたTBG定量を、この度Non-RIA(CLEIA)での測定に変更いたします。

▼疾患との関連

甲状腺疾患

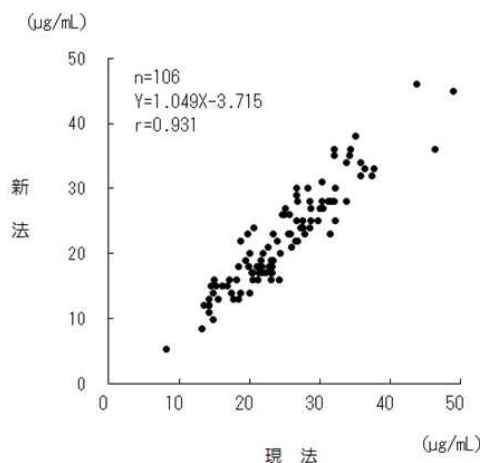
▼関連する検査項目

サイロキシン(T_4)、抗サイログロブリン抗体、
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)、
トリヨードサイロニン摂取率(T_3 摂取率)、
トリヨードサイロニン(T_3)

■検査要項

項目コード	2135
検査項目名	サイロキシン結合グロブリン(TBG)
検体量	血清 0.5 mL
容器	01
保存方法	冷蔵
所要日数	3~6日
検査方法	CLEIA
基準値	14~31 ($\mu\text{g/mL}$)
検査実施料	130点 (「D008」内分泌学的検査「16」サイロキシン結合グロブリン(TBG))
判断料	144点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	(特になし)
検査委託先	株式会社エスアールエル (→5)

■新旧二法の相関



(SRL 検討データ)

■参考文献

家入蒼生夫:日本臨床 63(増):272~276, 2005. (臨床的意義参考文献)